

シンポジウム 1

「消化管医療を拓く基礎 - 臨床ブリッジング」

司会 大島 忠之（名古屋市立大学医学部附属西部医療センター消化器内科）
田嶋 公人（城西国際大学薬学部薬理学研究室）

近年、マイクロバイオーーム研究や消化管粘膜の炎症機構の解明により、消化管疾患に対する治療選択は大きく拡大しています。しかし、病因に関わる標的分子が見出されても、その知見を臨床へと展開するにはなお課題が残されています。本シンポジウムでは、炎症性および機能性疾患を含む多様な消化管病態を対象に、創薬および個別化医療への応用を見据え、日々研究に取り組まれている先生方から広く演題を募集します。基礎と臨床の融合による新たな橋渡しの可能性を探ります。